

山梨大学 個別技術相談会

機械・装置、画像・情報処理 等

山梨大学では、第21回目となる個別技術相談会を開催いたします。

本相談会は、企業の皆様と大学研究者の技術、ノウハウ、知見をご紹介するとともに、事前にヒアリングさせて頂きます相談内容について提案・助言等を行います。別添の研究者紹介をご覧頂き、研究内容についてもっと詳しく知りたいという方、今抱えている技術的な課題・問題などについて相談したいという方、是非ともこの機会をご活用ください。

なお、今回の研究者に該当しない分野における相談や、産学連携全般の相談、ご要望があれば助成制度についての説明もさせていただきますので、どうぞお気軽にご相談ください。皆様のご参加をお待ちしております。

※本案内を研究の開発部門内などでご回覧くださいますようお願いいたします。

■ 日時 : 平成27年**4月23日(木)** 13:00~17:00
(1社あたりの面談時間:約50分)

■ 会場 : 山梨中央銀行 八王子支店2階
<所在地> 東京都八王子市千人町2-4-8
<電話> 042-662-2740

《アクセス》

JR西八王子駅北口下車 徒歩 3分

参加無料



■ 形式 : 本学研究者と企業様との1対1の面談を個別スペースで行い、企業様からの技術などの相談に応じます。

■ お申込方法 : 裏面「参加申込書」に必要事項をご記入の上、**FAX(055-220-8757)**にてお送りください。またメールでのお申込みの場合は、件名を「個別技術相談会の申込み」とし、参加申込書に記載されている必要事項をご記入の上、renkei-as@yamanashi.ac.jpまでお送りください。

■ 申込締切 : 平成27年4月16日(木)

※相談内容における秘密は厳守いたします。

お申込み頂きました方には、日程調整等の詳細について事務局よりご連絡いたしますとともに、担当より相談内容についてヒアリングをさせていただきます。

なお、締め切り後、全体の調整をするためご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

お申込みをされてから1週間以内に受付確認の連絡がない場合は、お問い合わせください。

開催協力機関 : (株)山梨中央銀行、山梨中銀経営コンサルティング(株)、八王子商工会議所

<お問合せ・お申込み先>

山梨大学 社会連携・研究支援機構 担当: 還田、服部、最上、一瀬

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37

Tel: 055-220-8759 Fax: 055-220-8757 Email: renkei-as@yamanashi.ac.jp

参加申込みは
裏面をご覧ください

参加申込書

FAX 055-220-8757 社会連携・研究支援機構(担当: 還田・一瀬宛)



「山梨大学 個別技術相談会」

平成27年4月23日(木)

面談時間帯

- A 13:00~13:50
- B 14:00~14:50
- C 15:00~15:50
- D 16:00~16:50

■ ご記入頂きました個人情報、山梨大学社会連携・研究支援機構の運営管理のみに利用させていただきます。
 ※お申込み頂いた方には、山梨大学社会連携・研究支援機構が開催するイベントに関するご案内を送付させて頂くことがあります。
 但し、ご要望があればすみやかに中止いたします。

貴社名

所在地 〒

ご担当者 氏名

部署名・役職

電話

Email

※右記A~Dの中から、ご希望の時間帯を入れてください。

キーワード	研究者一言	研究者	ご希望時間
溶射、表面処理、高温材料、ライフサイクルアセスメント(LCA)、溶接	製品の耐久性や長寿命化について一緒に考えてみませんか。耐熱、耐摩耗、耐食、接合等、各種目的に応じた最適な加工法や材料についてご提案いたします。企業の皆様のお役に立てれば幸いです。	機械工学科 園家 啓嗣	
医療・福祉機器の開発、法科学(科学捜査、鑑定)人体損傷評価、ISO等の安全基準策定 自治体・住民と連携した社会実験	私は主に、医工連携による安全・安心な社会の実現に向け、要素技術の開発から機器開発、さらには社会システムの構築に至るまでの幅広い段階における研究を行ってきました。警察庁科学警察研究所で10年間、国立長寿医療研究センターで5年間、研究開発および社会実装に従事してまいりましたので、警察、医療の現場と連携した技術開発と比較的短期間での社会実装を目指した取り組みが中心です。安全・安心な社会の実現のために医療・福祉、科学捜査、自動車・交通といった分野での技術開発、製品開発にご興味があれば、お気軽にご相談ください。	機械工学科 伊藤 安海	
複合対流、数値解析、可視化、計測	工業分野における熱交換(空調、乾燥など)等の温度差は数十度程度であり、高効率化や熱移動現象の解明には精度のよい温度分布計測が必要です。感温液晶を用いた非接触温度分布計測技術はこのように要望に応える基盤技術です。	機械工学科 鳥山 孝司	
制御工学、自動制御、システム制御、ロボット制御、レスキューロボット	企業の皆さまが、生産ラインの自動化、位置精度の向上、高速化といったご要望があれば、その相談に応じることができると思います。また、システムの性能を最大限に発揮できる制御法が提供できると思います。企業の皆さまからご相談をいただく中で、私も現場が直面している問題を知りたいと思っています。一緒に問題を共有する中で新しいものを生み出すことができれば、と考えています。	機械工学科 大原 伸介	
バイオメカニクス 医用画像処理、コンピュータ外科手術計画支援 パーチャルリアリティ	私は、熟練外科医の手術計画ノウハウを学習した自動手術計画立案システムや、安全領域への力覚誘導機能を持つ、バーチャルリアリティ技術を用いた手術計画対話的立案支援システムを開発してきました。手術以外にも応用可能かと思っておりますので、私の研究内容に少しでもご興味がありましたらお気軽にご相談ください。有益な情報が提供できればと思います。	機械工学科 鍵山 善之	
熱工学、流体工学、熱流体の可視化計測(3次元温度・速度同時計測)、燃焼工学(触媒燃焼、予混合燃焼)	レーザーシート光を用いた気体、液体の流れの可視化技術が専門分野です。この機器の、この部分を測ってほしいというご要望があれば、ご相談ください。スプレーの噴霧状態、燃焼炉内のガス、温排水(温度速度同時計測)など、様々な計測対象に対応可能です。可視化機器(レーザー、カメラ等)を安く導入するための助言も承ります。計測手法を工夫することで、導入費用を10分の1以下に抑えることも可能です。	機械工学科 船谷 俊平	
GPUによる数値シミュレーション コンピュータグラフィックスと可視化 機械学習と画像検査 高速画像処理と映像配信	私は現在主にGPU(Graphics Processing Unit)を活用した研究をしています。GPUは画像処理やコンピュータグラフィックスの高速化に有効だけでなく、安価で高性能な上に電力効率に優れた並列計算機として近年特に注目されています。また大規模なスーパーコンピュータからスマートフォンにまで広く搭載される演算装置です。また当研究室にはGPU搭載PCやGPUクラスタが備わっていますので、「計算時間を短縮したい」「GPUプログラミングを習得したい」「機械学習を業務に活用してみたい」といったご相談もお受けできると思います。私の研究内容に少しでも興味があればお気軽にご相談ください。	コンピュータ理工学科 安藤 英俊	
自然言語処理、計算言語学、文書作成支援、文書読解支援、日本語表現の自動言い換え、文章の難易度判定、情報抽出	人間が用いる「ことば」をコンピューター上で知的に取り扱う方法について研究しています。近年、テキスト情報が溢れており、情報の発信者は受け手に合わせて簡潔に分かりやすく文章を書くことが求められています。これを支援するために、文章の難易度を自動的に判定したり、分かりにくい箇所を自動的に見つけ出したりする技術について研究を進めています。大量の文書の中から、要望や改善すべき点、苦情などを自動的に抽出する技術についても研究しています。この研究内容に少しでもご興味がありましたら、お気軽にご相談ください。有益な情報が提供できればと存じます。	コンピュータ理工学科 松吉 俊	
超音波センサ 測距、物体検出 干渉、雑音、ワイドレンジセンサ	超音波センサは、小型・安価・軽量で扱いが簡単であるため、多くの場面で用いられていますが、いざ使おうとすると雑音や他のセンサの干渉などの影響で正しく動作しないことが多々あります。雑音の多い環境下、複数の超音波センサのある環境下での超音波測距技術を提案いたします。企業の皆様のお役に立てれば幸いです。ぜひお気軽にご相談ください。	情報コミュニケーション工学科 丹沢 勉	
音声インタフェース、音声入力による顧客情報管理、音声の中の特定制語の検出、音声データ検索、音声認識誤りの自動・手動訂正システム、講義・講演の話し方の自動評価支援	近年、スマートフォンが普及し、音声認識技術が身近になってきました。今後は、新しい入力手段として「音声」が広く利用されてくることは疑う余地がありません。私は、人にやさしい音声インタフェースの研究を進めています。音声認識、音声インタフェースを応用した入力支援などに興味がありましたら気軽にご相談いただければ幸いです。	情報コミュニケーション工学科 西崎 博光	
制御工学、医療、福祉、レスキューロボットシミュレーション	医療や福祉、レスキューなど人とかかわるロボットに関する研究を行っています。ロボットや組み込み技術にご興味ございましたらご相談ください。また、地球シミュレータを用いたカーボンの3次元構造の予測などの大規模シミュレーションも行っていましたので、シミュレーションを用いた予測、分析、可視化などもご相談いただけます。	情報コミュニケーション工学科 牧野 浩二	